



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.16

2018.07 発行



最近の活動紹介

皆さま、こんにちは。高野町むらづくり支援員(別称・地域おこし協力隊)の田中寛人(たなかひろと)です。

マイカーが古い車でカセットテープタイプのオーディオなのですが、手持ちでカセットを持っておらず、友人から頂いて二十数年ぶりにカセットテープに触れて、聴いてみました。

「ガチャコン」と大きな音と共に曲が始まり、手作りカセットだからなのか、曲と曲の間は無音の時間があり、久しぶりの操作なので壊れたのかなと不安になったり懐かしくなったり。聴きたい曲をピンポイントで再生できないのもカセットならではのですね。運転の楽しみが増えました。

今回は通信第16号をお届けいたします。

最近の活動としては、6月16日に筒香地区にある旧筒香小学校の大掃除をお手伝いしました。集会所として時々使われているので校内は片付いているのですが、使われていない部分にホコリや虫の死骸が溜まっていたり、かつて使っていたパソコン関係の電気機器類などは確実に使わないものも多数あったりして、寄せ集めればまだまだ片付けるものがたくさんあったので、筒香寄合会さまと

一緒に大掃除のイベント化と参加者集めを行わせていただきました。

今回のイベントは何かを体験するでもなく、本当に廃校の「大掃除」だけの肉体力労働作業(運ぶ、拭く、掃く)でしたが、山奥まで外から5名の方が来てくださり、総勢13名で取り組むことが出来ました。一番遠い方は横浜から来てくれました、びっくろ!

高いところの掃除や重いものの運搬に大変ありがたかったです。たくさんの方の片付けるものもありましたが、どんどん搬出することができ、ひろいスペースが復活しました!廊下で雑巾がけレースもできるくらいサッパリしました。

片付けてみて分ったのですが、山奥の小学校なので「都市と山村での教育の差」というものがあるのではないかと私は勝手に思っていました。マイナーな教科も含めた全ての教科の教材や機器が揃っており、当時からある程度の差はあっても、日本中どこでも等しく教育を受けることができた環境だったのかな?と気づかされました。

また、スライドの映写による学習は私も小学生の頃に経験したことはあったのですが、私の当時よりもさらに古い映写の道具やスライドなどもあり、今使いこなせる人がいるうちに一度当時の授業を体験してみたいとも感じました。

お昼時には地域の方からの差し入れ(手作り柿の葉寿司)などもあり、短い時間ではありましたが、外から来てくれた方に現地の文化や情報の発信や交流にもつながったかな、とも思います。

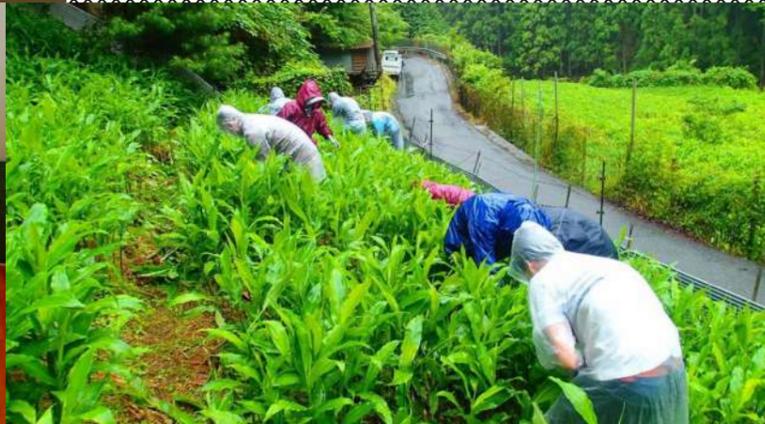
学校自体の見た目(外装はそのまま)は全く変わっていないけれど、中身が非常にキレイになりました。せっかく今すぐ授業をできるくらいキレイになったの



で、外のハゲている壁の塗装もなるとかなればいいのになあと感じます。

最近の活動 続き

その他、大掃除とは別日の土砂降りの中、援農に来てくれた大学生の皆さんと、地域の特産品であるミョウガ栽培のお手伝いしました。(左の写真)



今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみならずと動いている案件につきましても、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

①宿泊施設の営業
いななか暮らしやいななか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。知り合いの方には来て頂きませんが、まだまだお客様は来ておりません。

②地域資源の調査・実験
ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に、情報発信、イベント化や体験プログラム化、商売化などを検討。提案していければと思います。果樹、葉草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③筒香地区での仕掛け
筒香寄合会様と協働で加工品作りや、筒香を発信する仕掛けづくりを検討・実施しています。大学生による農作業の支援もサポートしています。

④神谷地区での仕掛け
神谷地区の方と協働し、南海電鉄 紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤花坂地区での仕掛け
花坂地区在住のむらづくり支援員の方と協働して、地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。大阪で、

花坂の手作りコンニャクや金山寺味噌のファンが生まれています。

⑥富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛け先でPRしています。また、葉草・古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦その他いろいろ
高野山で未就学児を対象にした体験プログラムの検討・実践をはじめました。高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行う予定です。

⑧富貴で生計を立てるための仕事づくり
同時並行で進めたいと思うのですが、「せっかく富貴に住むのだから」とあれもこれもやりたいことがたくさん出てきて中々時間が取れず、あまり進んでおりません。

直近ではこのような活動を行っておりますが、他にも「こんな地域になればいいのに」「や」「こんな活動をすれば良くなるのでは」「ないか」といった地域づくりに関する皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

なお、記載のほとんどの活動において役場からの具体的な指示が下りてきて動いているのではなく、私田中が自主的に検討して判断して行動しております。

イベント情報

7/29にタライ舟漕ぎ体験イベントやります。

※実際に使われていた「タライ舟」を漕げるのは日本で唯一私のところだけです。初高野町開催。



日時：7/29(日) 10時～14時くらい？(雨天時は中止)

場所：高野町 富貴中学校のプール(和歌山県伊都郡高野町東富貴202。集合場所は近所ですが別なので、申込者に別途ご案内致します)

定員：15人くらい(子供は小学校高学年以上～大人まで)
最少催行人数：5人。事前申込制、7/26までにお申込下さい。

内容：たらい舟に乗り、漕ぎ棒で水面をぶかぶか漕げます。
※一人乗り。大人も子供も乗れます(ライフジャケット有)。

参加費：千円
申込方法：下部連絡先にご連絡下さい。

準備物：濡れても良い格好、ビーサン的なもの、着替え、水遊び道具(自分の番が終わった後にプールとして遊ぶ方)、タオル類、お昼ご飯や飲み物(現場は山の中です)

水場を借りる都合上、たぶん高野町で開催するのは最初で最後になると思うので、良かったらご参加下さい。

イベント情報2

7月、8月、9月で月に1度ずつ「身近な自然の恵みを採集して食べる」イベントを行います。植物の恵み+周辺の生き物(昆虫食も含む)を対象にした実践的なプログラムになっています。イベント自体は、身近な自然を活用して地元にある資源を活用し、その上で他地域と差別化を図り、交通手段の乏しい山村までどうやれば人(積極的に自分から行動する人材)を呼べるか、のテストを兼ねています。今後起こりうる、広域での大規模災害時に食料調達の手段としても学んでおいて損は無いのではないかと考えています。様々な方が見ていると思いますので、内容についての詳細は控えます。ご興味のある方は個別にご連絡下さい。

場所：高野町筒香地区

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。前号と被るのもあります

●千歯こき、要らないのあったら下さい

自身では特に何も作物を作っていないのですが、採集調査しているものを脱穀するのにあれば便利なので、もし眠っているものがあれば譲って下さい。



発行元

「たなかめ通信」 Vol. 16 2018年(平成30年)7月
制作・編集者 / 高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと
〒648-0402 和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com

編集 後記

今号もご覧頂きありがとうございます。先月、岩出市・紀の川市エリア限定で配布されている生活情報誌「まいなあが」(三万八千部発行)に私の行っている別の活動について表紙と巻頭特集で取り上げて頂きました！
無料情報誌のたくさん配られていて和歌山市と違って、那賀地方や伊都地方では情報を発信するは入手するたための媒体が非常に少ないので、大変ありがたいです。離れた場所にいる県民の方にも活動を知らせてもらい、例えば距離的に遠くても色々な部分で協力者になつてもらえたらいいなあと思います。



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.17

2018.08発行



最近の活動紹介

皆さま、こんにちは。高野町むらづくり支援員(別称・地域おこし協力隊)の田中寛人(たなかひろひと)です。

猛暑猛暑と騒がれる中、個人的に気になるニュースを見かけました。「35度を超えると蚊が活動しなくなって刺されにくくなる」そうです。今年はずいぶん暑い日が続いたことから例年よりも二週間ほど蚊の発生が早まり、刺されやすい私は「イヤだなー」と思っていました。猛暑のおかげで今年はまだあまり噛まれていません。数少ない猛暑のメリットですね。他にも果物が甘くなる、と言っていました。今回は通信第17号をお届けいたします。

最近の活動としては、「健康茶・薬草茶の勉強会」を開催しました。去年から薬草を活用した地域おこしが出来ないかと動いていました。

今年に入ってから専門家の先生と一緒に富貴・筒香エリアを何回か調査し(季節によって生えているものが違うのでまだ1シーズンしか見ていません)、実際に見かけたものや、たぶんこら辺にも生えているであろうと推測した薬草や薬木の種類をピックアップして、近畿大学の先生のところまで有している薬草・薬木を(時間の都合上)お茶の状態にして持参していただいて、「健康茶・薬草茶の勉強会」を簡香寄合会の皆さんと実施させていただきました。

当日、専門家の先生には43種類の既にお茶になったものを持参頂いて、各自飲んでみたい種類を選んで試飲しました。例えば、アケビ、アカメガシワ、カラスノエンドウ、クサギ、キンミズヒキ、ゲンノシヨウコ、クマザサ、オオバ



コ、スギナ、シソ、ツユクサ、ドクダミ、トウモロコシ、ヨモギなど。同時に、自家製健康茶の作り方の植物の見分け方の紹介もして頂いて、実践的なお話も伺いました。普段身近にある様々な植物をお茶にすることができ、健康への効果

が期待できるものもいろいろあったので、地元にあるものを使って出来るものが一つでも増えたらいいなと思います。

私自身よく分からないいろいろなものを食べるのが好きなので、身近な野草を季節に合わせて採集して、ちょっとだけ庭先で干して乾燥させています。知り合いの美容関係者にそれを紹介したところ大変面白がってくれたので、たぶんニーズはあるはずなので外に向けての情報発信も今後は行う予定です。

最近の活動 続き

その他、昆虫食(虫を採って食べる)のイベントを行いました。関西各地から参加があり、大好評でした。30種類以上の野生食材で20種類以上の料理が完成。



今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみなさんと動いている案件につきましては、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

①宿泊施設の営業
いなか暮らしやいなか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。最近イベント時の参加者の方に使って頂きました。

②地域資源の調査・実験
ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に情報発信、イベント化や体験プログラム化、商売化などを検討・提案していければと思います。果樹、薬草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③筒香地区での仕掛け
筒香寄合会様と協働で加工品作りや、筒香を発信する仕掛けづくりを検討・実施しています。大学生による農作業の支援もサポートしています。

④神谷地区での仕掛け
神谷地区の方と協働し、南海電鉄・紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤花坂地区での仕掛け
花坂地区在住のむらづくり支援員の方と協働して、地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。大阪で、花坂の手作りコンニャクや金山

寺味噌のファンが生まれています。

⑥富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛けた先でPRしています。また、薬草・古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦その他いろいろ
高野山で未就学児を対象にした体験プログラムの検討・実践をはじめました。高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行っています。

⑧富貴で生計を立てるための仕事づくり
同時並行で進めたいと思うのですが、「せつかく富貴に住むのだから」とあれもこれもやりたいことがたくさん出てきて中々時間が取れず、あまり進んでおりません。

直近ではこのような活動を行っておりますが、他にも「こんな地域になればいいのに」「や」「こんな活動をすれば良くなるのではないか」といった地域づくりに関わる皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

なお、記載のほとんどの活動において役場からの具体的な指示が下りてきて動いているのではなく、私田中が自主的に検討して判断して行動しております。

イベント情報

イベント情報 2

7月、8月、9月で月に1度ずつ「身近な自然の恵みを採集して食べる」イベントを行います(7月は実施済み)。植物の恵み+周辺の生き物(昆虫食も含む)を対象にした実践的なプログラムになっています。イベント自体は、身近な自然を活用して地元にある資源を活用し、その上で他地域と差別化を図り、交通手段の乏しい山村までどうやれば人(積極的に自分から行動する人材)を呼べるか、のテストを兼ねています。今後起こりうる、広域での大規模災害時に食料調達の手段としても学んでおいて損は無いのではないかと考えています。様々な方が見ていると思いますので、内容についての詳細は控えます。ご興味のある方は個別にご連絡下さい。

場所：高野町筒香地区



7/29のタライ舟漕ぎ体験イベント中止しました
予定しておりましたイベントですが、台風とかぶったため、中止しました。楽しみにして頂いた方、申し訳ありません。

8月中にコスプレ撮影会を行います(これは一般公開で募集しておりません)
筒香小学校の校舎内が大変キレイになったことを受けて、どんな方がどんな風に使いたいニーズがあるのかを探るために、一つの使い方として「撮影会」で使いたい人がいないかを調べています。7月に一度知り合いを通じて写真好きな方に来て頂いて、撮影会を実施しました(以下、その時の写真)



たぶん彼らの小学校時代とは学習内容は全然違うと思うのですが、「懐かしい」といながら校舎内場所を探検し、様々な所で撮影を楽しんでいました。

もう少しニーズを探るために、希望者を探して、あと何回か撮影会をテストしたいと思います。

町内の方で、このような催しに参加する側で興味のある方おられたら、ご連絡ください。色々小道具も揃っています。



探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。前号と被るのもあります

●千歯こき、要らないのあったら下さい

自身では特に何も作物を作ってはいないのですが、採集調査しているものを脱穀するのにあれば便利なので、もし眠っているものがあれば譲って下さい。



編集 後記

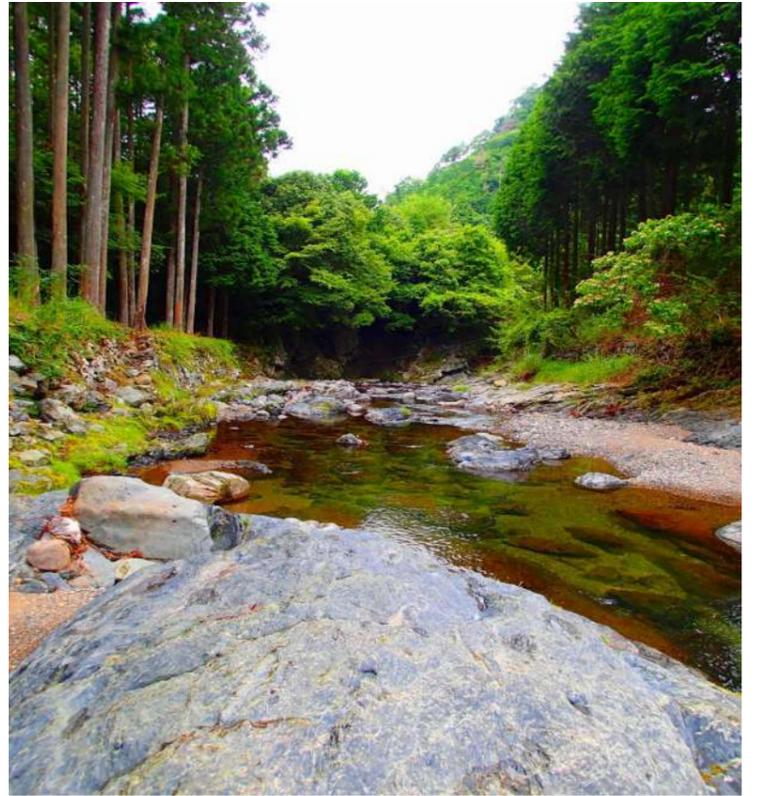
今号もご覧頂きありがとうございます。昆虫食の話題をチラホラ書いてありますが、もしかしたら関西ローカルのテレビに出るかもしれない。一見ゲテモノ食のように見られるのですが、実は国連が2013年に「今後の食糧危機のことも考えて昆虫食も検討しましょう」と提言しています。その後、ヨーロッパでは昆虫食文化が無いにもかかわらず、昆虫食が取り入れられ、ビジネスとしてどんどん広がっています。一方、日本は元々昆虫食の文化があったにもかかわらず、欧米に遅れをとっていき、もったいないなあと感じます。

発行元
「たなかめ通信」 Vol. 17 2018年(平成30年)8月
制作・編集者/
高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと
〒648-0402
和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com



たなかめ通信

From Fuki



最近の活動紹介

皆さま、こんにちは。高野町むらづくり支援員(別称・地域おこし協力隊)の田中寛人(たなかひろと)です。

台風21号により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。私の家も被害にありました。大きな損傷はなく、普段の生活を行えることが幸せなのだと思えて実感しました。あと、さすがにこの台風到来中は怖くて、一人暮らしの心細くなりました。

話は変わりますが、今月で町のむらづくり支援員のお仕事の任期が残り半年となりました。冬の厳しい寒さの中では私の得意分野の自然を活かした体験などができないことを考えると、実質動き回れるのは残り4ヶ月くらいかなあと考えております。残り僅かですがまだまだ走り続けますので、皆様宜しくお願いいたします。

今回は通信第18号をお届けいたします。

最近の活動をいくつかご紹介。川の調査をしました。

筒香地区を流れている丹生川を旧筒香小学校や橋本のやどり温泉とセツトで自然体験プログラムに使用しないかと考え、現場を知るべく一日川に入って調査してみました。

遠くから見た感じ危なそうな場所もあったため、事前に募集した二人の友人に手伝って頂いて、4時間かけてく川の中、水の中を歩いて調査。

水遊びレベルの水深から、ボコボコ尖がった岩ばかりのこけたら危険な場所や、コンクリートの段差も乗り越え、石垣が残っていたり景勝地になりそうなキレイな場所などがあり、途中コケを踏んだ際に滑って下半身はビチョビチョになりながらも無事に河合橋まで到着。ただ、予定目的の地手前まで



うしても歩いて進めない場所があり、斜面を登って車道を少し歩きました。

結論として
・水はキレイだけど(下流の堰で生き物が上がって来られないため)生き物があまりおらず、魚や両生類の種類も量も少ないので自然体験としては厳しい。
・どこも携帯の電波が無いので緊急対応ができない
ので、体験プログラム化は難しいです。



続いて、木造の廃校めぐり実施。役場に協力して頂いて、木造構造物に詳しい建築士の先生方をお招きして、木造の廃校3ヶ所を案内。

廃校の現在の様子を確認して頂いて、学校が建てられた当時の建築技術や校舎の構造の特徴的な部分について教えて頂きました。

木造校舎で授業を受けたことはないのですが、ただ存在するだけで温かくホッとしました。それぞれの廃校(十地域)の特色を活かした利用を模索するために、ヨソモノと組んで色々と活用してみたいのになあと感じました。

最近の活動 続き

8月28日放送の毎日放送「ちんぷいぷい」という番組で先日行ったイベントを二十分間取り上げて頂きました。

内容は「昆虫食を通じた地域おこし」という切り口で九時間分くらいの内容をうまくまとめていただいています。

時間的に主婦の視聴者が多かったと思いますが、後から制作の方に聞いたところ、お茶の間の皆さんにも割と好意的に受け取って頂けたようです。

その後、文字のニュースにもなつて、ヤフーニュースのトップページをしばらく飾りました。

私は昆虫食に特化して動いているわけはありません。

農山村での暮らし・田舎での暮らしの中で、身近な自然をまるごと頂くことを提案しており、スーパーには並ばないけど美味しい野草や木の実、ウナギや鮎以外の川の魚、田んぼのタニシやドジョウといったあまり知られていない資源をもっと知ってもらいたいと思いつつ、その中に並列で「昆虫を食べる」ということがあります。

なので、昆虫食の専門家というよりは、昆虫も含めた身近な未利用資源・低利用資源の活用を専門家という捉え方をしてもらえたらと思います。



今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみなさんと動いている案件につきましては、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

①宿泊施設の営業
いななか暮らしやいななか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。最近イベント時の参加者の方に使って頂きました。

②地域資源の調査・実験
ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に情報発信、イベント化や体験プログラム化、商売などを検討。提案していければと思います。果樹、薬草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③筒香地区での仕掛け
筒香寄合会様と協働で加工品作りや、筒香を発信する仕掛けづくりを検討・実施しています。大学生による農作業の支援もサポートしています。

④神谷地区での仕掛け
神谷地区の方と協働し、南海電鉄 紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤花坂地区での仕掛け
花坂地区在住のむらづくり支援員の方と協働して、地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。大阪で、花坂の手作りコンニャクや金山

寺味噌のファンが生まれています。

⑥富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛けた先でPRしています。また、薬草・古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦その他いろいろ
高野山で未就学児を対象にした体験プログラムの検討・実践をはじめました。高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行っています。

⑧富貴で生計を立てるための仕事づくり
薬草について勉強して、「いななか」と思ったので、身近な薬草を活用した商品の販売を現在準備中です。

直近ではこのような活動を行っておりませんが、他にも「こんな地域になればいいのに」「こんな活動をすれば良くなるのではないか」といった地域づくりに関わる皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

なお、記載のほとんどの活動において役場からの具体的な指示が下りてきて動いているのではなく、私田中が自主的に検討して判断して行動しております。

イベント情報

8月も旧筒香小学校で撮影会を行いました

廃校の活用を検討するために、筒香寄合会様に貸して頂いて先月に続いて「撮影会会場」として使っていただきました。

校舎内を利用したのはモチロンですが、なんと近所の川でも撮影するというので、モデル役の浴衣の女性陣が濡れることにもわずに川の中へザブザブ入って撮影されていました！その撮影に対する熱意にビックリ！！

ちょうど私のところに地域おこしの勉強に来ていた大学生は、学部が史学部ということもあってか、図書室のふるーい蔵書に目をキラキラさせて「こんなの他の図書館には無い(年代が古いのもう撤去されている)ですよ！貴重な本がいろいろあります！」と言ってスマホで検索してくれて、誰も気付いていなかった、蔵書の価値を見出してくれていました。

もう少しニーズを探るために、希望者を探して、あと何回か撮影会をテストしたいと思えます。

町内の方で、このような催しに参加する側で興味のある方おられたら、ご連絡ください。色々小道具も揃っています。



イベント情報 2

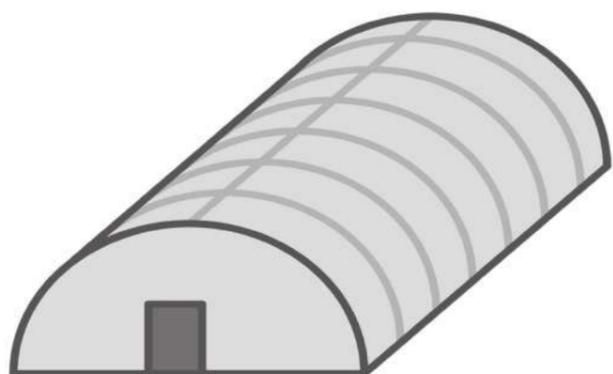
7月、8月、9月で月に1度ずつ「身近な自然の恵みを採集して食べる」イベントを行います(7月、8月は実施済み)。植物の恵み+周辺の生き物(昆虫食も含む)を対象にした実践的なプログラムになっています。イベント自体は、身近な自然を活用して地元にある資源を活用し、その上で他地域と差別化を図り、交通手段の乏しい山村までどうやれば人(積極的に自分から行動する人材)を呼べるか、のテストを兼ねています。今後起こりうる、広域での大規模災害時に食料調達の手段としても学んでおいて損は無いのではないかと考えています。様々な方が見ていると思いますので、内容についての詳細は控えます。ご興味のある方は個別にご連絡下さい。

場所：高野町筒香地区

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。前号と被るのもあります

●富貴地区で使わせて頂けるビニールハウスあったら教えて下さい、植物の乾燥用に使ってみたいです(うまくいけば通年借りたいかも)

自身では特に何も作物を作ってはいないのですが、採集調査しているものを乾燥するのに使いたいのので、もう使わないビニールハウスがあれば貸して下さい。



編集 後記

今号もご覧頂きありがとうございます。ご根性「スイカ」、庭にできました。自宅の入り口スペースが駐車場になってくるのですが、毎日の車の出入りするその場所にスイカが出来ました！そもそも駐車スペースなのでガレキ+固い地面という不向きな場所に加えて、車の左右のタイヤ間から生えてきて、器用に中央で成長し続けて見守っていたらとうとう大きな実をつけました。そのうち車の底とぶつかるので、どのタイミングで収穫しようかなあ...

発行元

「たなかめ通信」 Vol. 18 2018年(平成30年)9月
制作・編集者／
高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと
〒648-0402 和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.19

2018.10発行



最近の活動紹介

皆さま、こんにちは。高野町むらづくり支援員(別称・地域おこし協力隊)の田中寛人(たなかひろと)です。

毎週のように台風や強風大雨で、なかなか外でのフィールドワークや実験が進まないのがちょっと困っている今日この頃です。

先日せっかくなので採って来た植物を洗って外に3日間干していたら方だてしまった・・・無念。冬になる前に色々試したいのに！。今回は通信第19号をお届けいたします。

先月に三回目の昆虫食のイベント(虫を捕って、調理して、食べる)を簡香地区で行わせて頂きました。前日の天気予報的には曇りでしたが、当日開始時刻が近づくにつれて雨模様となり、採集時には大雨となってしまいました。ただ、申し込んで頂いた参加者の方は誰一人キャンセルすることなく遠くから来て頂いたの、予定よりも大幅に採集時間を縮めながらも大雨の中みんな濡れながら採集しました。

今回は大雨により採集時間が大幅に短縮されたので素材の(虫の)種類も量も少なくなりました。ですが、参加者みんなで下処理や調理を行い、さらには差し入れで地元産のクリとミョウガを頂き、それを使って品数を増やし、飲み物からスイーツまで最終的に17品の自然まるごと料理が作れました。

試食タイムではなんと7歳のちびっこ(下の写真)



が、捕ったイナゴの佃煮にハマって一人でバクバク食べてました。めっちゃ好きになっちゃったみたい。彼の中ではそこら辺のイナゴ「こちそう」「おやつ」「佃煮にする」と美味しいというイメージになっちゃうかも。食べ切れなかつたイナゴの佃煮は彼が「家でも食べたい」ということで全部お持ち帰りしました。

なるものではないので、農山村の地域おこし(特に交流人口の増加やふらっと来てもらえる現場作り)については目の前に広がっている自然を利用した「仕掛け」を考えた方が早いです。過疎地で集客のために目新しい箱モノを今から作る必要は無いです。小さな財政規模なのに数千円や億のお金をかけて箱モノを作るくらいならバスの本数を増やしたり、告知にお金をかけたり、地元のやる気のある人材の育成に使った方が確実に役に立つし地域の生き残る確率が上がると思います。そこらへんを検討してもらいたいのですが...

今年7月8月9月と毎月一回ずつ継続してイベント化し、非常にアクセスが悪い中にもかかわらず、一定数の参加してくれました(一回全部来てくれた方も)。これにより過疎地域・山村集落でも、身近な自然を活かして他の地域では体験できないようなユニークなプログラムを組んで提供することが実証できました。

「何にも無い」とか「電車で来てもらえない」とか言っているも無いものは無いし、今すぐどうにか

「何にも無い」とか「電車で来てもらえない」とか言っているも無いものは無いし、今すぐどうにか

あ、ただ、冬場も山村に人を呼べないかという小さなテストイベントはまだ何回かやる予定です。もうしばらくお付き合い下さい。

最近の活動 続き

最近テレビやインターネットのメディアに出させて頂くことが増えた(全部昆虫食の体験絡みです)ので、自分の取り組んでいることが広く社会ではどのように価値を認められたのかを評価すべく、メディア露出した分について広告費換算で数字に表してみました。・ちんぷいぷいで20分間取り上げて放送↓2億円
・ヤフーニュースのトップページに掲載(左写真) ↓840万円
・NHK和歌山とテレビ和歌山(冒頭写真)でも取り上げて頂いて放送 ↓100万円
・NHKの番組を2つコーディネート(私は出演はしていません) ↓100万円

テレビのディレクターさん達からは、「面白い取り組みですが場所が遠いから(予算が無くて)取材に行けません」「野外体験イベントの取材は雨で中止になった場合につぶしが聞かないので撮影できません」などと言われながらも集客や情報発信に力を入れ、今年だけで2億1千万円以上の価値を生んだみたいです。めっちゃ頑張った！後は地域にお金を落とすとしてもらえる仕組みを作りたいなあ、と考えています。



今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみなさんと動いている案件につきましては、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

①宿泊施設の営業
いななか暮らしやいななか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。最近イベント時の参加者の方に使って頂きました。

②地域資源の調査・実験
ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に情報発信、イベント化や体験プログラム化、商売などを検討・提案していければと思います。果樹、薬草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③筒香地区での仕掛け
筒香寄合会様と協働で加工品作りや、筒香を発信する仕掛けづくりを検討・実施しています。大学生による農作業の支援もサポートしています。

④神谷地区での仕掛け
神谷地区の方と協働し、南海電鉄 紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤花坂地区での仕掛け
地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。大阪で、花坂の手作りコンニャクや金山寺味噌のファンが生まれています。

⑥富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛け先でPRしています。また、薬草・古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦その他いろいろ
高野山で未就学児を対象にした体験プログラムの検討・実践をはじめました。
高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行っています。

⑧富貴で生計を立てるための仕事づくり
薬草について勉強して、「いななか」と思ったので、身近な薬草を活用した商品の販売を現在準備中です。

直近ではこのような活動を行っておりますが、他にも「こんな地域になればいいのに」や「こんな活動をすれば良くなるのではないか」といった地域づくりに関する皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

なお、記載のほとんどの活動において役場からの具体的な指示が下りてきて動いているのではなく、私田中が自主的に検討して判断して行動しております。

活動報告つづき

薬草の活用の勉強のために、国内で先行している岐阜県に行ってきました。

アポイント無しで伺ったのですが、地元の普及団体の代表の方が時間を割いていただき、薬草を活用した商品開発について、体験プログラムについて、料理について、普及に向けた課題・失敗談などを色々とお話をさせていただきました。できることから実践していきたいと思っております。



薬草イベントに参加

薬草料理を教えて頂く



薬草ツアーを教えて頂く

活動報告つづき

花坂地区の地元グループ「花坂さくら会」さんが作る「手作り田舎味噌」をタルごと30kg売れました～私のつながりのある方にちよくちよくご紹介してはいましたが、試して買ってくれた方が気に入ってくれて、「美味いからご近所にも紹介したい」ということでドーンと30kg分を何とタルごとお買い上げ頂きました。

ありがたいことに口コミで広がってくれて、岩出市内の奥様方に花坂のお味噌が広まっています。花坂のお味噌の力強い応援者が出来ました！

※ちなみにその30kgの味噌もあっという間に無くなっている模様。

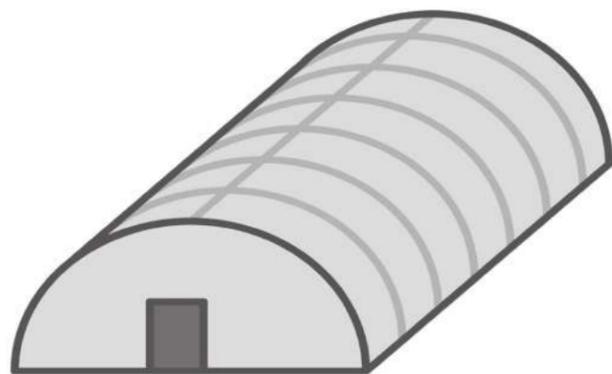


●富貴地区で使わせて頂けるビニールハウスあったら

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。前号と被るのもあります

教えて下さい、植物の乾燥用に使ってみたいです(うまくいけば通年借りたいかも)

自身では特に何も作物を作っていないのですが、採集調査しているものを乾燥するのに使いたいので、もう使わないビニールハウスがあれば貸して下さい。



編集 後記



今号もご覧頂きありがとうございます。先月書いた駐車場の車の下にできた「ど根性スイカ」、車体と擦りそうになってきたので収穫しました。味は薄かったけれど、水分たっぷり。

発行元

「たなかめ通信」 Vol. 19 2018年(平成30年)10月
制作・編集者／
高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと
〒648-0402
和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com



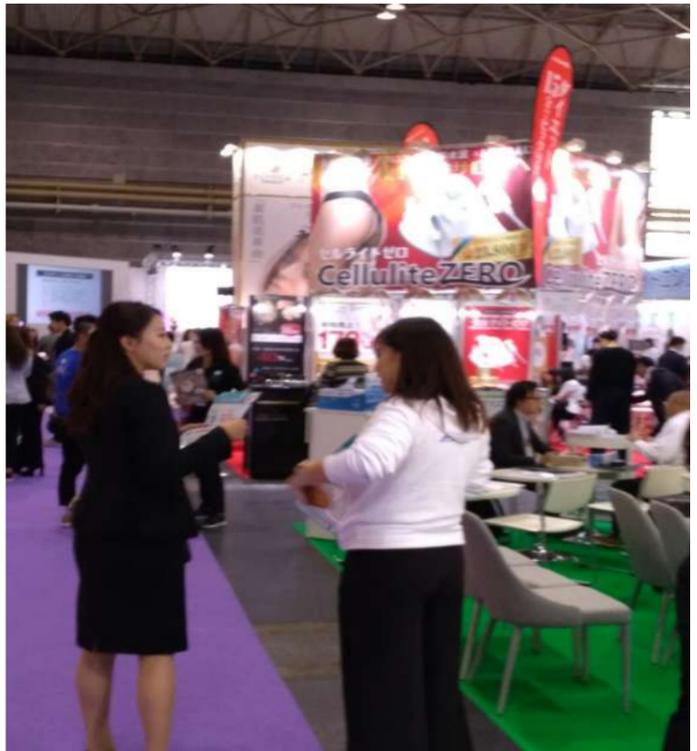
たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.20

2018.11発行



最近の活動紹介

皆さま、こんにちは。高野町むらづくり支援員(別称・地域おこし協力隊)の田中寛人(たなかひろひと)です。

10月まで毎月ならんかのイベントを行って、やっと(自分メインでの)イベントが無い状態になり、落ち着いて考えられるようになりました。ナリワイ作りにも励まないといけないので、今月は色々なところに勉強に行ってきた報告です。

今回は通信第20号をお届けいたします。

まずは大阪で行われた「ビューティーワールドジャパン」というイベントを見に行きました。「ビューティのすべてが集結する美の祭典!あなたのビューティビジネスが動き出す、製品・アイデア・人との新たな出会いが叶う三日間」という謳い文句の通りに、出展内容は、化粧品・美容機器・ネイル・ヘア・香水・ビューティサプリメント・ダイエット・健康食品・サロン設備・審美歯科といった美と健康に関するものばかり。そして参加者もほぼ99%が女性でした(男性がいてもデザインナーやサロン経営者っぽいオシャレな人

ばかりで居心地悪かった・・・)。そんな所になぜ出かけたかと言うと、今身の回りにはある薬草を使った商品開発や体験プログラムの開発を検討しているの、性別でいうと対象は女性となり、どんな人にニーズがあって、どんな内容だと興味を持ってもらえて、どう見せればよいか、を学ぶために行ってきた。

「女性は肌に本当にいいかどうか分からないものを使い続けて、これでいいのかな」とも感じたり。女性が美と健康にかける熱意とお金はスゴイ、ということは良く分かったイベントでした。

参加者がほぼ女性ということもあって、きらびやかで非常に派手なブースが多くて、海外からの輸入化粧品やサプリメントブースにも行列が出来ていて、カタカナ用語(リフトアップ、デトックス、アンチエイジング、パワーなんちゃら等)が乱立する中で、和の素材をどう活用すれば買ってもらえるのかと考える、薬草関連のエステブースやアロマオイル関連のブース、そして化粧品に強いパッケージデザインブースをメインで訪問して話をしました。国産で無農薬の薬草を、量の確保ができればニーズはありそうでした。

また、フアベックス関西というイベントにも勉強に行ってきた。これは食品に特化した様々なジャンルの業者が集まるイベントです。前述のイベントとは打って変わって出展者も参加者も男性が多く、色々聞き出しやすかったです。ここでは加工機器、食感を操作する食品添加物、これまでにない食品の組み合わせ、科学的調理技術、特徴ある地域食材、パッケージデザインなどを勉強してきました。最近流行の写真映えを狙った見た目重視のブース設置や商品設計、オーガニック●●といった健康志向の商品なども多く見られたり、距離的に近いから和歌山県内の出展者も多数ありました。こんなイベントに出展するくらいの体力はまだ無いので、他でやっていけないコトをメインに取り組んで行きたいと思えます。



最近の活動 続き

「第8回わかやま住民要求研究会」@和歌山市 という勉強会に呼んで頂き、地域おこし協力隊の運用についてお話をさせていただきました。地域おこし協力隊の制度の説明、日本各地の活用事例、応募した隊員との付き合い方、地域おこしを成し遂げるにはどんな形で進めていくのが良いのか、高野町の失敗事例、制度導入のポイントなどを紹介してきました。ただ単に話をしただけの講演で終わるのかなと思いましたが、参加者の皆さんは非常に熱心で、色々質問されて、和歌山を良くする為に学ぼうという意欲が感じられた会でした。

その他、同じく和歌山市で行われた地域づくりのシンポジウムでも少しお話をさせていただきました。普段出せない方々とながらを持つことができ、よい機会ではあったのですが、なかなか和歌山市まで行くのが遠いので、地元のこと、は地元でするのが良いと思つので、県内各地で、地域づくりを学ぼう、実践しようという勉強会がもっとたくさんあればいいのかなとも感じました。



今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみなさんと動いている案件につきましては、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

① 宿泊施設の営業

いななか暮らしやいななか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。最近イベント時の参加者の方に使って頂きました。

② 地域資源の調査・実験

ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に情報発信、イベント化や体験プログラム化、商売化などを検討。提案していければと思います。果樹、薬草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③ 筒香地区での仕掛け

筒香寄合会様と協働で加工品作りや、筒香を発信する仕掛けづくりを検討・実施しています。大学生による農作業の支援もサポートしています。

④ 神谷地区での仕掛け

色々と動きたいのですが全然行けておらず、ネット上での情報発信を考えています。

⑤ 花坂地区での仕掛け

地域の産品を大都市圏へ持つて行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。花坂の手作りコンニャクや金山寺味噌のファンが生まれています。

⑥ 富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛け先でPRしています。また、薬草・古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦ その他いろいろ

高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行っています。

⑧ 富貴で生計を立てるための仕事づくり

薬草について勉強して、「いななか」と思ったので、身近な薬草を活用した商品の販売を現在準備中です。

⑨ 県をまたいだ周辺地域との連携づくり

いつも橋本市に下りる時や富貴に上がってくる際に奈良県境と和歌山県境を往來して、和歌山県の東端に住んでいるのを実感するので、奈良県側と何か一緒に出来ないかと考えて動いています。

直近ではこのような活動を行っておりませんが、他にも「こんな地域になればいいのに」「や」「こんな活動をすれば良くなるのではないか」といった地域づくりに関わる皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

なお、記載のほとんどの活動において役場からの具体的な指示が下りてきて動いているのではなく、私田中が自主的に検討して判断して行動しております。

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。前号と被る場合もあります

周りで色々と植物を調査しているのですが、気になっている植物でまだまだ見つからないものがあるので、見かけたら教えて下さい。(そもそも生えていない可能性もありますが)



ケンポナシ。
枝のような実ができる。



ウコギ
幹に鋭いトゲがある。
富貴・筒香エリアであれば。



アオハダ。
株元から枝分かれが多い。赤い実がなる。



活動報告つづき

奈良県では「漢方のメッカ推進プロジェクト」という名前で、原料となる薬用作物の生産、漢方関連品の製造販売に関する既存の業振興もさることながら、関連する新たな商品・サービス等の創出も視野に入れ、産業活性化を県が旗を振って支援しています。富貴の産物でもあるトウキについても「大和トウキ」というブランドとして育てており、栽培から販売・商品開発までかなり手を入れて支援していました。富貴のトウキにも当てはまるはずなので、奈良のブースを色々調べ、また、岡山や岐阜、東京からの出展者もあり、そこでもお話を聞きました。

現場で見つけたもの

- ・薬草入りソーセージ
- ・薬草入りドレッシング
- ・薬草入りパン、サンドイッチ
- ・薬草入り炊き込みご飯
- ・薬草入りクッキー
- ・薬草入りキャンディ
- ・薬草入り麺
- ・薬草入りスープ
- ・薬草入りカレー
- ・薬草入りふりかけ
- ・薬草の入浴剤
- ・薬草でエステ
- ・薬草のアロマオイル
- ・薬草で染色
- ・薬草入りハチミツ
- ・薬草茶
- ・薬草で料理教室

などなど多様な商品があり、身近な薬草を商品化していました。見習わないと。



編集 後記

今号もご覧頂きありがとうございます。薬草の調査中に可愛らしいコンペイトウ型の植物の実を見つけました。いつも通りにもっとよく見ようと素手で掴んだら、細かい針のような毛がたくさん刺さりました。好奇心旺盛なものも考え物です。

発行元

「たなかめ通信」 Vol. 20 2018年(平成30年)11月
制作・編集者／
高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと
〒648-0402
和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com